

第3回議会報告会・意見交換会アンケート回答

〔議会報告会・意見交換会についての感想や評価〕

議会報告会の開催日程について、平日または土曜日の夕方や夜間に実施してみてもいい。

回答：第1回目の開催は土曜日午後7時から行った経緯があります。第2回は午後2時から行いました。今後も市民が集まりやすい環境づくりを目指して様々な曜日・時間帯を設定し、よりよい時間を検討します。

アンケートについて、都合の悪い意見に対する回答を掲載してほしい。

回答：アンケート用紙にお書き頂いた質問へは全て回答しています。

議員個人を対象とした抗議が集中すると次回報告会に参加しなくなってしまうのではないかと心配。

回答：22人全員による桐生市議会としての報告会です。今後も十分注意して運営していきたいと思っております。

報告会をみていると衆議院予算委員会を見ているようで面白い。

回答：ありがとうございます。今後も市民が意見の出しやすい報告会を目指します。

意見交換会の時間延長を考えてほしい。

回答：第4回目は時間を30分延長して行います。

賛否結果だけでなく、賛成・反対意見を知りたい。

回答：タイムスケジュール等の問題もありますので、今後検討していきたいと思っております。

議員が地域に出向いての報告会は議会・議員を身近に感じる。

回答：ありがとうございます。まさに、その事が報告会の大きな目的のひとつです。

質問者について、やらせ（議会が用意？）がいたように思う。

回答：そのようなことはないと思っております。もし、その様に感じられた方がいらっしゃいましたら、是非その場でご指摘下さい。

〔桐生市議会へのご意見やご提案、ご要望〕

議員報酬や市長等特別職給与を削減しても微々たるもの、ほかに削減することがあると思う。

回答：今まで以上に総体的な行財政改革の断行を市当局に要望していきたいと思います。

議員報酬について、すぐとは言わないが、将来的にはボランティアに近い形で活動して欲しい。また、議員になりたい人になるのではなく、なって欲しい人になって頂きたい。

回答：桐生市議会においては、「昨年、報酬審議会が設置され、議員報酬について削減を行った。根本的な討議は今後、必要であると思う。」という意見と、「そのようなことは一切考えていない。」という意見がありました。

群馬県（桐生市）は年金・介護が遅れている。もっと力を入れてほしい。

回答：市当局に要望していきたいと思います。

黒保根町には議員定数1名を確保して欲しい。

回答：合併してひとつの地域になりましたので、現状では困難であると思います。

介護予防についての活動が議会にてなされていないようだが。議会の考えを聞かせてほしい。介護保険を使わないで済む体制づくりを構築するべき。

回答：介護予防については、議員個々の一般質問等では指摘されているところです。

荒っぽいやり方ですが、この際、財政再建団体の指定を受けることにより、将来の明るい展望が開ける努力をしてほしい。

回答：そのようなことは全く考えておりませんが、万が一にもそのような事態に陥らないように全力を傾けて参ります。

議員のブログについて、反省文や謝罪文を載せるべき、まず自分を反省してから書くべきだ。

回答：ブログ等に対する規制は現状では困難であり、ご本人の自覚を待つしか方法はないと考えております。

[そのほかのご指摘や市政への質問・要望など]

- ・第3回目の議会報告会でやっと市民と議会の議論が噛みあったという感じがし、とても良い報告会であったと思います。特に前半の議案説明は賛否両方の意見がとても分かり易く紹介され、前回に比べ格段の進歩と思います。これまでの努力に心からの敬意を表します。
- ・黒保根住民の意見が庭山議員のブログに対する批判として吹き出していましたが、これは本質的には放射能対策を求める声です。一議員に対する個人攻撃として捉えるのではなく、議会として次のことを要望します。
- ・農地の放射能測定、収穫物の放射能測定、どんど焼きで予定している焼却予定の木の放射能の測定、その他住民要望のあるものの放射能の測定を議会全員で取り組む（実現するように）。
- ・風評被害があるとしたら、それは庭山議員のブログのせいも一部あるかもしれませんが、本質的には放射能によるものです。議会は黒保根地区だけでなく、新里、梅田等のあらゆる農家の風評被害の実態を調べ、これを国と東京電力に補償を求めるべきです。これが市民の切実な訴えに対する対応と思います。
- ・旧市内、新里、黒保根と3回意見交換会が行われましたが、これではその地区では年1回しか行われません。議員を3チームに分け、各議会終了ごとにこの3地区で行う。また、会場は長く使用時間を予約し、30分位の時間延長を行い、挙手のある人が尽きるまで市民の意見を聞くべきです。今回の報告会は市民がいかに多くの意見を持ち議員の日常活動を求めているかを証明するものです。
- ・次は私の意見です。
- ・原発事故が起きてしまった以上、今、最も重要なことは子供の健康を守ることです。それは具体的には給食食材に安全なものを使うという一語に尽きます。しかしながら、教育部長、教育長、教育委員会の現時点での対応は間違っており、子供達を守るべき立場の者が、子供達を守る職責を果たしていません。こういった人たちの更迭を求めます。なぜなら、これを放置していた

第3回議会報告会・意見交換会アンケート回答

ら子供達はおろか全市民が被曝してしまうからです。

- ・ 5月16日の市内各所の放射能値、10月初旬の白菜の放射能値と使用再開した11月初旬の放射能値、その他、市が持っている情報の公開を求めます。なぜならば、それがわかれば、市内全域がどんな状態にあるか大体わかるからです。危険なものが危険と公表されれば、それは避ける事が出来ます。それを隠していて安全と思いこませることは重大な犯罪です。議会が行政（市役所）を指導監督し、大至急情報公開を求めるよう要望いたします。
- ・ 原発の運転は「それは危険だ」と思っている人が運転するのが最も安全だといわれています。現時点の放射能に対する対策は総指揮官が放射能の怖さを知らないように思います。（市役所のトップ）安全論を公言する人物ではなく、今こそ原子力の危険性を十分に知る者を総指揮官として迎えるべきです。なぜならば、過去の原因事故の全て（スリーマイル・チェルノブイリ等）が、直後は過小評価されて（大本営発表）、5年から30年後に実は重大だった（炉心の状態）と発表されているからです。これこそが、住民が大量被曝する最大の理由です。原因事故は現在進行中で飛び散っている放射能の量は既にチェルノブイリ事故の時の量を超えています。今や議会是非常事態であるという認識をしっかりと持ち、市民を無用の被曝から守る、なにかんずく子供達の内部被曝を最小限に食い止めるために全力を尽くすよう強く求めます。

回答：桐生市議会全体として対応可能な事を検討しながら進めて参りたいと思います。

ブログ問題について

- ・ 黒保根の生産者の悲痛な声を率直に受け止めたい。
- ・ 群大早川教授のデータでも、黒保根・梅田がホットスポットであることは明らか。毎日、新聞紙上に発表される前橋の空間放射線量は0.022マイクロシーベルトだが、これが実態を表しているとは到底考えにくい。黒保根住民・農業者に負担を負わせるのではなく、行政、JAが組織的にサポートする体制をつくるべき。
- ・ 行政は第一に黒保根・梅田地区の生産者の生計を保障する体制づくりを。

第3回議会報告会・意見交換会アンケート回答

- ・農業の安全を担保するための土壌の安全性の確保。
- ・森林・水源の除染。
- ・上記と併行して、この地区の農業生産物が放射能汚染されていない事を証明する検査体制づくりが行政の責任である。上記に関するコストは全て「東電」に請求すべき。ブログでの発言は必ずしも「風評被害」を誘発しているものとは思えません。

回答：桐生市議会全体として対応可能な事を検討しながら進めて参りたいと思います。